



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 ソーダニッカ株式会社

コード番号 8158 URL <http://www.sodanikka.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長洲 崇彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部門長

(氏名) 安江 正人

TEL 03-3245-1803

四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	24,111	3.0	399	26.0	482	28.9	312	33.7
27年3月期第1四半期	23,416	0.2	317	△5.1	374	△5.5	233	△0.3

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 725百万円 (73.9%) 27年3月期第1四半期 417百万円 (△20.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	12.52	—
27年3月期第1四半期	9.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	54,377	21,072	38.8
27年3月期	54,473	20,533	37.7

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 21,072百万円 27年3月期 20,533百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	6.50	—	7.50	14.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	51,000	3.6	830	2.1	900	1.8	560	5.1	22.45
通期	104,000	3.1	1,770	1.9	1,930	1.1	1,200	7.1	48.11

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	25,168,000 株	27年3月期	25,168,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	225,710 株	27年3月期	225,710 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	24,942,290 株	27年3月期1Q	24,947,738 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に企業収益の向上や雇用情勢の好転が見られるなど、景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、中国経済の減速懸念やギリシャの債務問題など国際的な不安要素もあり、先行き不透明な状況となっております。

当社グループに関係の深い化学工業界につきましては、原油安による仕入コストの低下や円安による輸出の持ち直しもあり、企業収益には改善がみられるものの、国内生産は本格的な回復には至っておりません。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、引き続き化学品と機能材の二事業を基軸とする経営を推進するとともに、中国・ASEAN地域における海外取引の拡大、再生可能エネルギー関連資材の販売等、環境関連ビジネスの強化に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高241億1千1百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益3億9千9百万円（同26.0%増）、経常利益4億8千2百万円（同28.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億1千2百万円（同33.7%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

【化学品事業】

無機薬品につきましては、主力商品のか性ソーダは市況の低迷により減収となりましたが、脱硫用途の水酸化マグネシウム及びカルシウム化合物は増収となりました。官公庁向けの活性炭及び次亜塩素酸ソーダは増収となりましたが、炭酸ソーダ及び重炭酸ソーダは仕入先の販売停止などにより減収となりました。

有機薬品につきましては、製紙用ラテックス、紙力増強剤は需要が伸長し増収となりましたが、その他の石油系溶剤及びエチレングリコールは原油安による市況下落により減収となりました。

この結果、化学品事業といたしましては、売上高は前年同期に比べ3.4%減の156億2百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ10.2%減の4億7千3百万円となりました。

【機能材事業】

包装材料につきましては、ポリプロピレンフィルム、複合フィルム、ポリエステルフィルム、ナイロンフィルム等は増収となりましたが、合成樹脂につきましては、フッ素樹脂が減収となりました。

機器類につきましては、電気関連機器は大型案件の受注により、増収となりました。また、塗装工事及び排ガス処理装置はスポット案件の受注により増収となりましたが、包装関連機器は減収となりました。

その他の資材につきましては、キレート剤は瓦礫処理向けが再開し増収となりましたが、清掃工場向け排ガス処理薬剤は納入減少となり減収となりました。

この結果、機能材事業といたしましては、売上高は前年同期に比べ14.2%増の78億4千2百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ56.6%増の3億4千2百万円となりました。

【その他事業】

その他事業につきましては、連結子会社の曹達日化商貿(上海)有限公司の増収や、前第2四半期連結会計期間より株式会社日本包装を連結の範囲に含めたことなどにより、売上高は前年同期に比べ72.4%増の6億6千5百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ7.5%増の2千8百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

【財政状態の分析】

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ9千6百万円減少いたしました。

増減の主なものは資産の部では、現金及び預金が2億8千7百万円、商品及び製品が11億2千2百万円、投資有価証券が5億9千4百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が19億5千6百万円減少いたしました。負債の部では、繰延税金負債が1億7千8百万円増加し、支払手形及び買掛金が3億8千9百万円、未払法人税等が4億1千7百万円それぞれ減少いたしました。純資産の部では、その他有価証券評価差額金が4億8百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月12日付公表の数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（会計基準等の改正等に伴う会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。

当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,524	5,811
受取手形及び売掛金	34,349	32,393
商品及び製品	2,018	3,140
その他	496	374
貸倒引当金	△36	△31
流動資産合計	42,352	41,688
固定資産		
有形固定資産	1,609	1,608
無形固定資産	112	99
投資その他の資産		
投資有価証券	9,658	10,252
その他	797	784
貸倒引当金	△57	△56
投資その他の資産合計	10,398	10,980
固定資産合計	12,121	12,689
資産合計	54,473	54,377

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,731	24,342
短期借入金	5,229	5,304
未払法人税等	527	110
引当金	292	144
その他	441	499
流動負債合計	31,223	30,400
固定負債		
繰延税金負債	1,170	1,348
退職給付に係る負債	806	818
その他	739	737
固定負債合計	2,716	2,904
負債合計	33,939	33,305
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,762	3,762
資本剰余金	3,130	3,130
利益剰余金	10,227	10,360
自己株式	△63	△63
株主資本合計	17,056	17,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,175	3,584
繰延ヘッジ損益	7	9
土地再評価差額金	136	137
為替換算調整勘定	158	153
退職給付に係る調整累計額	△1	△1
その他の包括利益累計額合計	3,476	3,882
純資産合計	20,533	21,072
負債純資産合計	54,473	54,377

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	23,416	24,111
売上原価	21,878	22,429
売上総利益	1,538	1,681
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	264	261
給料及び手当	334	357
賞与引当金繰入額	120	124
役員賞与引当金繰入額	9	10
退職給付費用	20	20
その他	472	507
販売費及び一般管理費合計	1,221	1,281
営業利益	317	399
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	67	78
その他	7	16
営業外収益合計	75	97
営業外費用		
支払利息	11	13
売上割引	1	1
その他	6	0
営業外費用合計	18	14
経常利益	374	482
税金等調整前四半期純利益	374	482
法人税、住民税及び事業税	99	104
法人税等調整額	41	65
法人税等合計	140	170
四半期純利益	233	312
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	233	312

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	233	312
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	195	415
繰延ヘッジ損益	△2	1
土地再評価差額金	-	1
為替換算調整勘定	△9	△4
退職給付に係る調整額	△0	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	183	413
四半期包括利益	417	725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	417	725
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	化学品 事業	機能材 事業	その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	16,159	6,870	386	23,416	—	23,416
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	264	264	△ 264	—
計	16,159	6,870	650	23,680	△ 264	23,416
セグメント利益	527	218	26	772	△ 455	317

(注) 1. セグメント利益の調整額△455百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	化学品 事業	機能材 事業	その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	15,602	7,842	665	24,111	—	24,111
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	480	480	△ 480	—
計	15,602	7,842	1,146	24,591	△ 480	24,111
セグメント利益	473	342	28	844	△ 445	399

(注) 1. セグメント利益の調整額△445百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。